

## 28年8月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年8月1日～ 28年8月10日

## 2. 調査実施方法

全国の木材チップ工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
8月分の回答企業数は11社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) チップ用国産原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/8月	9月	10月
入荷動向	スギ・ヒノキ	△ 16.7	5.6	5.6
	マツ	△ 45.0	△ 45.0	△ 45.0
	広葉樹	△ 31.8	△ 27.3	△ 36.4
消費動向	スギ・ヒノキ	△ 37.5	△ 18.8	△ 25.0
	マツ	△ 31.3	△ 31.3	△ 31.3
	広葉樹	△ 27.8	△ 11.1	△ 11.1
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 5.6	0.0	6.3
	マツ	△ 40.0	△ 40.0	△ 44.4
	広葉樹	△ 36.4	△ 22.7	△ 20.0

・チップ用国産原木の入荷はスギ・ヒノキは8月の減少が、9月、10月はやや増加。マツ及び広葉樹は3ヵ月連続して減少。

・チップ用国産原木の消費は3ヵ月連続して減少。

・チップ用国産原木の在庫はスギの8月のやや減少が、9月は横ばい、10月はやや増加。マツ及び広葉樹は3ヵ月連続して減少。

## (2) チップ用国産原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/8月	9月	10月
スギ・ヒノキ	0.0	△ 5.6	△ 5.6
マツ類	0.0	△ 5.0	△ 5.0
広葉樹	△ 5.0	0.0	0.0

・チップ用国産原木の購入価格は、スギ・ヒノキ及びマツ類は8月の横ばいが、9月、10月はやや弱含みに。広葉樹はやや弱保合いで推移。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

- ・バイオマス工場の稼働で原料の入荷が悪いのでは？(東北)。
- ・スギは再生事業により入荷増。マツは再生事業により入荷量安定。広葉樹の入荷は再生事業への業者の移行でやや減少気味(東北)。在庫はスギやや増加、マツ変わらず、広葉樹はやや減少(東北)。
- ・針葉樹、広葉樹共に入荷が悪い(関東)。
- ・スギ・ヒノキは、国有林からの入荷が増える予定。製紙会社の使用量が減少気味(中部)。
- ・荷動き良好、消費、在庫変動なし(中国)。
- ・伐採時期も良くなり仕入れはやや増加。木質バイオマス燃料の消費は安定だが、製紙用チップの当月受入れ減少、翌月、翌々月は横ばい見通し。在庫はやや増加、翌月、翌々月もやや増加の見通し(四国)。
- ・天気がよくなったが、暑さにより本格的に入荷が回復するのは来月から。製紙用・発電用共に数量抑え気味。入・出荷共にやや低調のため在庫はそれほど変わらない。9月頃から入荷も増えるので在庫はやや増加(九州)。
- ・広葉樹材が入らない。仕入れに応じた生産(九州)。

## (原木価格)

- ・針葉樹は燃料用パルプ材価格やや上昇。広葉樹は変わらず(東北)。
- ・変化なし(中部)。
- ・変動なし(中国)。
- ・変動なし(四国)。
- ・広葉樹はやや不足気味のため若干値段が上がりそう(九州)。

## 28年8月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 木材チップの荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/8月	9月	10月
生産 動向	スギ・ヒノキ	△ 37.5	△ 12.5	△ 18.8
	マツ類	△ 38.9	△ 38.9	△ 38.9
	広葉樹	△ 33.3	△ 27.8	△ 22.2
出荷 動向	スギ・ヒノキ	△ 33.3	△ 11.1	△ 16.7
	マツ類	△ 30.0	△ 35.0	△ 35.0
	広葉樹	△ 35.0	△ 31.8	△ 22.7
在庫 動向	スギ・ヒノキ	△ 21.4	△ 28.6	△ 28.6
	マツ類	△ 37.5	△ 37.5	△ 37.5
	広葉樹	△ 27.8	△ 27.8	△ 27.8

・木材チップの生産、消費及び在庫は3ヵ月連続して減少。

## (2) 木材チップ出荷価格動向(自社サイロ下渡し)W

品目	28/8月	9月	10月
スギ・ヒノキ類	0.0	△ 5.6	0.0
マツ類	0.0	△ 5.0	0.0
広葉樹	0.0	0.0	0.0

・木材チップの出荷価格はスギ・ヒノキ類及びマツ類は横ばいないしやや弱保合い推移。広葉樹は3ヵ月連続して横ばい。

## モニターからのコメント

## (木材チップ荷動き)

- ・お盆休みで少し減少(東北)。
- ・マツは入荷量の増加に伴い出荷も増加、広葉樹は入荷量の減少で主悪化はやや減少(東北)。
- ・製紙会社は各社とも、ボイラー故障、プラント定期修理などでチップが納入出来ない日が多い。出荷量は減少気味(関東)。
- ・原木入荷分は全量出荷出来る数量であるが、製紙会社が入荷を抑える動きあり。7月より製紙会社の使用量が減少(中部)。
- ・変動なし(中国)。
- ・燃料用は安定であるが、製紙、ボード用チップは受入れ減で生産・消費共にやや減少、翌月、翌々月は横ばい見通し。在庫は当月出荷減でやや増加、翌月、翌々月は横ばい見通し(四国)
- ・広葉樹の原木が減少気味のため、チップ生産に影響が出そう(九州)。
- ・原木入荷に応じた生産で、出荷は翌月よりやや増加(九州)。

## (木材チップ価格)

- ・特に変更なし(東北)。
- ・製紙会社が一部価格の修正を開始したとの情報(中部)。
- ・変動なし(中国)。
- ・翌月、製紙会社状況にてチップの値下げ見通し(四国)。
- ・しばらくは変化なし(九州)。